

生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト

オホーツク連携地域

【概要・目的】

大規模で生産性の高い畑作や酪農、国内有数の生産力を誇るホタテ・サケの栽培漁業、国内最大の森林認証取得エリアなどを背景に、オホーツクの農林水産業は全道でも有数の生産額を誇っており、今後とも地域の基幹産業として発展していく必要があります。

このため、高収益で安定的な生産体制の整備や担い手となる人材の育成・確保、海外を含めた販路拡大などの取組を展開し、農林水産業の更なる強化を図ります。

【施策展開】

前年度の主な取組実績（平成27年度）

■ 高収益で安定的な生産体制の整備

- 管内11地区で牧草の植生調査やセミナー等を実施（振興局・協議会）
- ほたてがい漁場の底質改善の実施（2カ所）（漁協）
- 路網整備事業を実施（道営3件、補助営5件、非公共7件）（道・市町村）

■ 担い手の育成・確保

- 新規就農者受入・指導体制強化推進事業（1カ所）、および青年就農給付金交付事業（7カ所）を実施（振興局・市町村・その他）
- 女性農業者の参画促進を図るため農村における女性の活力発揮モデル事業の実施（振興局・その他）

■ 良質な農水産物の販路拡大

- 海外マーケットへ向けて安全・安心で高品質なオホーツク農産物の販路拡大を推進するため「オホーツク農産物輸出研修会」を開催（振興局）

■ オホーツク産森林認証等の利用促進

- 認証材製品の普及にかかるカタログの作成（道）
- 木材加工流通施設等の整備（7施設）（民間）

今年度の主な取組（平成28年度）

■ 高収益で安定的な生産体制の整備

- スマート農業技術の導入や作業の外部委託、組織化による省力化等の推進のための普及啓発セミナーの実施（振興局）
- ほたてがい漁場の管理を目的とした、ハザードマップ作成に向けたデータ収集や各種調査の実施（漁協）

■ 担い手の育成・確保

- 東京農業大学との連携による林業インターンシップの実施（道・教育機関・森林組合・民間）
- 女性農業者の経営参画を促進するため農業女性ステップアップ事業の実施（3カ所）（振興局・その他）

■ 良質な農水産物の販路拡大

- オホーツク管内の農業協同組合に対する輸出実態調査の実施（振興局）
- サケの陸揚実態調査の実施（振興局）

■ オホーツク産森林認証等の利用促進

- 東京で開催された「Japan Home&Building Show」に出展しオホーツク産森林認証材のPR（道・市町村・民間）
- 木育マイスターと連携したイベントの協働実施や教育機関と連携した森林学習の実施による木育の普及啓発（道・市町村・民間）

今後の取組を進める上での主な課題

- 基盤整備に必要な継続的な予算の確保
- スマート農業の実践に向けた生産者の理解向上
- ほたてがいの生産性向上を図るため漁場の底質改善の継続
- 人材の育成・確保のため地域の高校生を対象とした新たな取組の展開
- 農業女性の活躍推進のための活動機会の創出
- 農業協同組合等、管内団体による輸出の取組の促進
- サケのEU-HACCP取得を目指すため、EU基準に適した陸揚げ体制の構築
- オホーツク産森林認証材の利用促進のため、ブランド化の推進
- 木育マイスターの一層の活用
- 食育活動等と連携した木育活動の展開

生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト

オホーツク連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成29年度)

■ 高収益で安定的な生産体制の整備

- ・ 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
- ・ 施業の集約化による間伐・路網整備・主伐後の再造林等の推進
- ・ 画像診断を活用したほ場の生産性を向上させる技術の実用化事例などを生産者に向けた情報発信
- ・ 市町村、漁協に対するほたてがい漁場の底質改善の実施に係る支援制度等の情報提供
- ・ ほたてがい漁場の管理を目的としたハザードマップ作成に向けた聞き取り調査の実施

■ 担い手の育成・確保

- ・ 農業女性による農業関係高校生への出前授業の実施
- ・ 東京農業大学・北見工業大学との連携による林業インターンシップの実施
- ・ オホーツク地域の大学と連携した農業女子育成プログラムの構築など新たな取組の検討

■ 良質な農水産物の販路拡大

- ・ オホーツク産畜産物輸出研修会や個別相談会の実施
- ・ 管内水産加工業者に対するEU輸出に係る意向調査やEU関係国内の水産物流通に係る研修会の開催
- ・ 北見農産物輸出促進協議会におけるロシア輸出事業のサポート

■ オホーツク産森林認証等の利用促進

- ・ 首都圏で開催される展示会におけるオホーツク産森林認証材のPRの実施
- ・ 木育マイスターと連携したイベントの協働実施や教育関係機関等と連携した森林学習等の実施
- ・ 食育活動等と連携した木育イベントの実施

生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト

オホーツク連携地域

【KPIの状況】

	基準値 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	H32(目標年)
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	(H27)	25% 〈進捗率〉63%					40%
衛生管理型漁港の整備	(H27)	4港 〈進捗率〉80%	4港 〈進捗率〉80%				5港
インターンシップ実施事業体数	0事業体 (H26)	0事業体 〈進捗率〉0%	0事業体 〈進捗率〉0%				18事業体
輸出に取り組む農業者団体数	3団体 (H25)	3団体 〈進捗率〉60%	5団体 〈進捗率〉100%			5団体	
サケEU-HACCP取得業者数	1団体 (H26)	1団体 〈進捗率〉25%	1団体 〈進捗率〉25%			4団体	
網走東部流域における森林伐採面積以上の造林面積の確保(造林面積/伐採面積 \geq 1)	0.64 (H26)	0.72 〈進捗率〉72%	0.62 〈進捗率〉62%				1.00
建築材等の出荷量	55.6千 m^3 (H26)	50.7千 m^3 〈進捗率〉80%					63.4千 m^3
地域住民との協働による森林づくり参加者数	11,000人 (H26)	10,425人 〈進捗率〉81%					12,800人

豊富な農水産物を活かした食関連産業振興プロジェクト

オホーツク連携地域

【概要・目的】

オホーツクは豊富で良質な農水産物を活用した食品工業が主要産業であり、食料品の出荷額は14（総合）振興局の中で3位となっていますが、食品工業付加価値率は19.3%で全道平均値26.7%を下回っている状況にあります。このため、多様な主体の連携を促進し、地域の農水産物を活用した新たな製品の開発や付加価値の向上、起業・創業に向けた取組を強化するとともに、国内外へ販路を拡大するなどして、食関連産業の振興を図ります。（数値はH25実績）

【施策展開】

前年度の主な取組実績（平成27年度）

■多様な主体の連携促進

- ・オホーツクの食と観光の海外展開の推進強化を目的としたワーキング・グループをオホーツク食のブランド形成ネットワーク連絡会議に設置（振興局）
- ・販売戦略と事業化・商品化構想力に優れた6次産業化の推進を図るため「6次産業化推進検討会」等を開催し管内の優良事例を紹介（振興局）

■付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進

- ・管内菓子店舗との連携による管内産小麦などを使用したオホーツクスイーツの開発とPR（振興局）
- ・企業・創業の推進に向けて商工会議所等の各種支援機関と連携（本庁・振興局）

■国内外への販路拡大

- ・タイで開催されたJAPANEXPOに出展し販路拡大・観光PR（振興局）
- ・市町村、保健所などと連携し食育推進のためパネル展を開催（振興局・市町村）

今年度の主な取組（平成28年度）

■多様な主体の連携促進

- ・オホーツク食の地域ブランド形成ネットワーク等を活用した情報提供（振興局）
- ・検討会や研修会を開催し6次産業化の制度や商品開発、食品加工の事例を紹介（振興局）

■付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進

- ・小麦の消費拡大等を目的として、管内の高校や大学と、菓子店が協働で地元客や観光客のおみやげとなるような新たなオホーツクスイーツの試作品を考案する開発プロジェクトを実施（振興局）
- ・起業化支援に向けた各種施策の情報提供（振興局）

■国内外への販路拡大

- ・オホーツクフェアの開催や代々木フェアへの出展により国内外への販路拡大を推進（振興局）
- ・水産物の消費拡大に向けたキャンペーンを展開（本庁・振興局・協議会・漁協）

今後の取組を進める上での主な課題

- より多様な主体の連携に向けたオホーツク食のブランド形成ネットワークの拡大
- 6次産業化の推進に向けた市町村や関係団体等との連携強化
- オホーツクスイーツ等のオホーツク産高付加価値商品の販路拡大
- 起業、創業に向けた支援措置の拡充
- オホーツク食ブランド向上に向けた取組
- 道内外で開催される商談会等への出展機会の増大
- 輸出手続きに関する事業者の理解向上
- 水産物の調理方法の紹介等による管内水産物の消費拡大に向けた普及啓発

【KPIの状況】

	基準値 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
オホーツク産小麦使用の菓子店舗数	14店 (H26)	35店 <進捗率> 70%	35店 <進捗率> 70%			50店
農水産物を活かしたオホーツク製品の延べ商談件数	(H27)	19件 <進捗率> 11%				延べ180件以上

【施策展開】

次年度の取組(平成29年度)

■ 多様な主体の連携促進

- ・ 企業訪問等の実施による多様な主体な連携に向けたオホーツク食のブランド形成ネットワーク参画者の拡大
- ・ 農業協同組合等の団体に向け6次産業化の推進に関する検討会や研修会の実施

■ 付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進

- ・ 菓子店、道の駅、包括連携協定締結企業など多様な主体の参画による「地域ぐるみ」のオホーツクスイーツ等の販路拡大・PR強化の実施
- ・ 創業サポート相談室による起業・創業の相談対応の実施
- ・ 道内の中小企業等の経営基盤の強化や事業の活性化を目的とした「北海道中小企業総合振興資金」の実施

■ 国内外への販路拡大

- ・ オホーツクフェアの開催や北海道どさんこプラザの活用によるオホーツク食ブランドの発信
- ・ 商談・相談会の開催による販路拡大、商品の磨き上げ
- ・ 事業者向けの輸出セミナー等の開催
- ・ オホーツク産農産物と水産物を活用した料理の開発と商品化の推進

地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

オホーツク連携地域

【概要・目的】

オホーツクは、知床世界自然遺産・流氷をはじめとした優れた自然や、花・食・温泉など世界に誇る多様な観光資源を有しており、オホーツクAI活動と連動してその魅力を道内外へ効果的に発信するとともに、地域の資源を活かした体験型・滞在型観光の推進に取り組むなどして、外国人をはじめとした観光客の誘致を強化していきます。

さらに、冷涼な夏や日照率が高いという気候特性を活かし、スポーツ合宿の誘致に取り組むほか、移住・定住の促進を図るなど、オホーツクへの来訪促進対策を総合的に展開していきます。

【施策展開】

前年度の主な取組実績（平成27年度）

■ オホーツクの魅力の効果的な発信

- ・道内各地の冬のイベントにおいて、流氷を守るを合言葉に、環境保全の啓発及び地域PRを実施（振興局）

■ 体験型・滞在型観光の推進

- ・グリーン・ツーリズムをPR活動するためパンフレットを活用した普及啓発を実施（振興局）

■ 外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進

- ・多言語マップを作成し女満別空港国際チャーター便誘致協議会等との連携により旅行者へ配布（協議会・振興局）

■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化

- ・国内、海外メディア招聘による専門誌等を活用した情報発信（振興局）
- ・誘致アドバイザー招聘による合宿誘致の手法の検討、合宿誘致に対する地域の機運醸成（振興局）

■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進

- ・オホーツク地域の暮らしの情報等をまとめたガイドブックを作成し移住希望者へ配布（振興局）

■ 空港の利用促進に向けた取組の推進

- ・国際定期便を就航させる航空会社に対して道内空港での発着に要する経費を補助（道）

今年度の主な取組（平成28年度）

■ オホーツクの魅力の効果的な発信

- ・市町村連携によるオホーツク統一イメージの形成・発信プロジェクトの企画検討（振興局・市町村）

■ 体験型・滞在型観光の推進

- ・オホーツクスイーツ試食等によるマスコミや消費者への観光情報の発信（振興局）

■ 外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進

- ・知床エコツーリズム推進に向けた英語や中国語による自然情報提供システムの構築（振興局）

■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化

- ・官民連携による閑散期における7人制ラグビーの大会の企画、実施（振興局）

■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進

- ・管内市町村の移住関連施策状況等の情報収集及び情報提供（振興局）

■ 空港の利用促進に向けた取組の推進

- ・女満別空港の利用促進に向けた関東、関西地域における地域PRの実施（協議会）
- ・紋別空港を利用した新たな旅行商品を首都圏の旅行会社において造成（市町村）

今後の取組を進める上での主な課題

- 市町村連携による大規模なプロモーション活動の展開
- PR効果や費用対効果の向上に向けた道央圏におけるプロモーション会場の選定
- グリーン・ツーリズム拡充に向けたPR活動の継続
- 自然ガイドの外国語対応能力の向上
- 関係機関と協力した海外での観光情報の発信
- スポーツ合宿誘致の推進及び新種目の受入に向けた関係機関との連携強化
- 管内自治体や移住・定住関係機関との連携体制の強化
- 旅行情報誌等を通じた地域PRの強化による更なる旅行需要の掘起こし

地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

オホーツク連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成29年度)

■ オホーツクの魅力の効果的な発信

- ・道東4振興局合同による「ひがし北海道周遊観光」PRの実施
- ・管内市町村と振興局による「オホーツク統一イメージ形成・発信プロジェクト」の実施
- ・管内市町村と振興局が保有するSNS及びWebサイトでの情報共有による地域PR情報の拡散

■ 体験型・滞在型観光の推進

- ・道央圏における体験・滞在推進を含めた観光物産フェアの実施
- ・グリーン・ツーリズム拡充に向けたPR活動の強化

■ 外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進

- ・自然ガイドの地域ネットワーク構築に向けた制度検討と英語対応能力向上のためのテキストの作成・配布
- ・広域観光周遊ルート形成事業と連携したモデルルート情報の国内外への発信

■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化

- ・市町村との連携による管内スポーツ大会でのPR活動及び道外での共同プロモーションの企画・実施等
- ・選手や指導者等の合宿誘致に係るキーパーソンを招聘した講演会開催等のPR活動の実施

■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進

- ・管内自治体や関係機関と連携したプロモーション活動や移住・定住に関する情報発信

■ 空港の利用促進に向けた取組の推進

- ・地域PR等を継続して実施し更なる旅行需要の掘り起こし
- ・海外におけるプロモーション事業やテレビCM等によるチャーター便誘致に向けたPR活動の実施

地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

オホーツク連携地域

【KPIの状況】

	基準値 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	H32(目標年)
管内への観光入込客数	846.9万人 (H25)	871.7万人 <進捗率> 97%				900万人	
外国人宿泊者延数	7.9万人 (H25)	11.9万人 <進捗率> 60%				20万人	
オホーツク地域の知名度	71.8% (H26)	72.3% <進捗率> 85%	70.2% <進捗率> 83%				85%
管内の合宿実施件数	8,839人 293件 (H26)	9,865人 370件 <進捗率> 82% <進捗率> 93%					12,000人 400件
スポーツツーリズムイベント実施数	0件 (H26)	0件 <進捗率> 0%	1件 <進捗率> 10%				10件
空港利用客数	80.3万人 (H26)	82.9万人 <進捗率> 75%					110万人